

## オーストラリア研修で学んだこと



藍住中学校 松本 龍実

僕の外国のイメージは、犯罪が多く、平和ではなさそうなイメージでした。だから、今回外国のこと、オーストラリアのことを学べて本当に良かったです。実際行ってみると、とても楽しく、現地の人も優しく接してくれたので、嬉しかったです。そう思った理由は、ホームステイの時に、はじめて自分から質問をすると、とても笑顔で答えてくれ、ホストファミリーのした質問の意味が分からないときはゆっくり言ってくれたり、単語で説明してくれたりしたからです。ホームステイでは、やっぱりちゃんと話せるか、会話ができるか不安だったけれど、そうやって緊張していたのは1日だけで、3日目からは、自然と楽に物事を伝えることができました。それに、ホストファミリーと一緒に買い物に行った時に何がどこにあるか分からずにしらみつぶしに文房具探していた僕に、優しく対応してくれたので、すごくあたたかみを感じました。

2日目は、小学校で交流を深めました。学校内の案内をしてくれたり、お互いの国の事を学ぶ授業をうけました。授業は、みんないろいろな所に座っていて、パソコンを使って学習していました。日本では、ノートに書いて学習することがほとんどなので、僕にとってはどこか落ち着きませんでした。6日目になり、ホストファミリーに公園に連れて行ってもらいました。その公園には、ペリカンに餌をあげるイベントがあり、40羽ぐらいペリカンがいました。そして、ペリカンを見終わると、レストランに連れて行ってもらいました。外国のレストランに行くのは、初めてでどんな料理があるのか、わくわくでした。結局、ステーキを頼みましたが、量が多く、食べきれませんでした。3日目からは、中学校で英語を学習しました。オーストラリアの学校ではモーニングティーという10時頃に休憩としてお菓子を食べるという休み時間があります。7日目、現地の人への日本文化紹介があり、約100名が注目するなか1人ずつプレゼンをするので、とても緊張しましたが、練習を何回もしていたので、自分の中では一番良い発表が出来たと思います。この日で現地の先生や生徒とお別れだったので休み時間に一緒に遊んでいた友達と別れるのは、とても悲しかったです。



8日目は休日で、ホストファミリーに、フットボールの試合に連れて行ってもらいました。初めてのフットボールを試合でしかも外国だったので迫力もすごかったです。

オーストラリアでの研修は、とても有意義な時間でした。言葉が伝わらない中で必死に伝えようとし、伝えるという力が鍛えられました。この10日間とても充実し、便利さ不便さ、日本との違いを学ぶことができ、とても嬉しかったです。また、僕の世話や家族のように接してくれたホストファミリーに、もっと勉強して会いに行きたいと思いました。

